

平成29年度 活動方針・事業計画

大阪市では、平成23年3月に「大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕」を策定し、市民、事業者、行政等が各自の役割に応じた温室効果ガス削減の取組みを進めています。

しかしながら、平成23年3月に起きた東日本大震災以降、化石燃料への依存が増大し、温室効果ガス排出量が増加しています。

一方、平成27年末に、今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収の均衡を達成すること、排出を「実質ゼロ」とするパリ協定が採択され、採択から1年足らずの平成28年11月に発効したところであります。

わが国では、平成28年5月に、徹底した省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの最大限の導入等を前提として平成42年度の新たな温室効果ガスの削減目標（平成25年度比26%削減）を設定した「地球温暖化対策計画」が策定され、この削減目標達成に向けて、すべての主体の意識の改革、行動の喚起、連携の強化の下で取り組むことが求められています。

大阪市においても、従来の実行計画の中間見直し（平成29年3月）を行い、温室効果ガス排出量を平成32年度までに平成25年度比5%以上削減することを目標に、再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの促進などを、「市民、事業者などの参加と協働、連携」を図ることで、実効性を高めて実施していくこととしています。

このような状況のもと、「なにわエコ会議」の役割は非常に大きなものであり、その活動の活発化、大阪市や会員団体、環境活動団体との協働、連携強化を進めていきます。

1 活動方針

- ・「なにわエコ会議」は、市民、環境NGO/NPO、学識経験者、事業者、大阪市が一体となって、地球温暖化防止活動をはじめ、さまざまな地球環境問題について取り組んでいきます。
- ・「環境にやさしいライフスタイルの推進」、「企業の環境配慮行動の推進（環境にやさしい企業活動の推進）」、「行政の環境配慮行動の推進（環境にやさしい行政活動の推進）」を活動の柱とします。
- ・会員団体・役員団体との連携を強化するとともに、あらゆる環境活動団体との連携・交流を深めながらネットワーク化を図っていきます。
- ・「なにわエコ会議」では、地域における環境保全活動の支援や実践活動を通じた人材の育成を進めるなど、広がりがあり、持続する着実な取組みを推進していきます。
- ・「なにわエコ会議」の組織基盤の確立を図るため、環境情報誌「なにわエコウェーブ」やICTを活用した積極的な情報発信、情報共有や活動の場の提供、研修等を通じて、「なにわエコパートナー」の拡大や育成を図ります。

2 事業計画

【重点項目】

「なにわエコ会議」として、次の重点項目を掲げ、地球温暖化対策やごみ減量について積極的に取り組んでいきます。

- ① これまでの実績のある各部会の活動の強化・拡大を図りつつ、活動の機会の創出や活動メンバーの連携強化により、「なにわエコ会議」として活動の活性化を図ります。
- ② 「大阪市地球温暖化対策実行計画」の改定や国などの動向を踏まえ、会員団体自らの実践行動の促進など、新たな活動内容の検討を行います。
- ③ 区役所などのイベント主催団体との相互協力を強化し、環境出前講座をはじめとする地域での環境教育・啓発活動を精力的に推進します。
- ④ 地球温暖化防止に向け、市内で活動する企業と協働した取組みを推進するとともに、大阪市環境経営推進協議会と連携を図ります。
- ⑤ 会員団体・役員団体や環境活動団体・大阪市エコボランティアと協働した取組みを強化します。
- ⑥ 「なにわエコ会議」の魅力を高め、若い世代の参加を促進するとともに、会員数や活動参加者の増につなげていきます。
- ⑦ 「天神祭りごみゼロ大作戦」に参加し、地域ぐるみの資源循環型社会の形成をめざした活動に参画します。

【全体活動】

(1) 各種環境活動団体との連携、環境団体との交流・ネットワーク化

- ① 各種団体主催の環境イベント等との連携を深め、なにわエコ会議の活動を展開していきます。
- ② 「なにわエコ会議」として、地球温暖化対策地域協議会（毎年更新）や環境NPO総覧への登録を継続し、各地域で活躍している環境団体とのネットワーク化を図っていきます。
- ③ 区等他団体主催のイベントに継続して参加協力するとともに、それらの団体に対し「なにわエコ会議」主催イベントへの参加協力を積極的に働きかけることにより、相互協力の強化を図っていきます。
- ④ 大阪市環境局が、一昨年度に立ち上げた「おおさか環境ネットワーク」に積極的に参加するとともに、参加している環境団体や大阪市エコボランティアとの連携強化を図り、地域ニーズに即した事業の展開を図っていきます。

(2) 部会活動の充実と部会を横断した環境イベントの取組み

各部会活動をより一層充実させるとともに、部会を横断した情報共有や協議を行い、市民

一人ひとりが環境活動に取り組んでもらえる環境イベントの主催やその他のイベントの参加・協力に努め、あわせて部会活動の強化を図ります。

(3) 若い世代の参加の促進

保育所・幼稚園・小中学校のPTAや大学・高校等の教育機関や環境保全活動を進めているサークル等との連携推進や、若い世代が多く集まるイベント等への積極的な参加、「なにわエコ会議」の趣旨に沿った活動団体の参加者等への活動PRにより、若い世代の参加の促進を図ります。

(4) 環境情報誌の発行

地球温暖化防止をはじめとした、様々な環境問題について、市民・事業者にわかりやすい環境情報誌「なにわエコウェーブ」の内容充実に努め、効率的・効果的な情報発信を目指します。

(5) I C Tの活用による情報発信

市民・エコパートナーに「なにわエコ会議」の活動を迅速に情報発信するとともに、当会のPRのために、引き続きホームページの内容の充実を図ります。また、ツイッター等のSNSを活用した情報発信を強化します。

(6) 啓発ツールの活用

出前講座や環境イベント・講演会などで効果的な啓発活動を行うため、次のとおり啓発ツールを活用します。

- ・平成24年度から小中学校の教育現場に導入された副読本「おおさか環境科」の活用を図ります。
- ・「エコすごろく」に続くなにわエコ会議独自の啓発ツールを開発し、それらを活用した積極的な啓発活動を実施します。
- ・「なにわエコ会議」のシンボルマークに環境啓発のコピーを付けたLINEスタンプを作成・配信します。

(7) なにわエコ会議参画団体との連携

「なにわエコ会議」にさまざまな形で連携いただいている団体との事業の推進に係る連携手法を検討します。

また、大阪市との連携において、副読本「おおさか環境科」の改訂、編集等に協力します。

【部会の取組み】

(1) エコライフ部会

地球温暖化対策をはじめ、気候変動の影響への対策も踏まえながら、人や環境や社会に配

慮した持続可能社会の提案と低炭素社会の構築に向け、市民一人ひとりの実践行動を支援していきます。

- ① 大阪市域の二酸化炭素排出量が増加傾向である家庭部門を主なターゲットとして、昨年度作成した冊子「楽しくかしこくエコライフ」を活用したセミナーの活発化など、エコライフを推進します。
- ② 買い物におけるエコライフ活動として、環境にやさしい商品への取り組みなどを学び、エコライフショッピングを推進します。
- ③ 食や都市の自然など市民にとって身近なテーマであるエコクッキングやハーブガーデン等の見学ツアーを実施します。
- ④ 暑熱（ヒートアイランド）への対策にもつながる活動として屋上緑化などの普及を行います。

（2）環境教育・啓発部会

環境問題に関心をもち活動している個人・団体等と積極的に連携を深め、地域と連携した環境教育啓発活動を推進するとともに、若い世代の参加の促進を図ります。

- ① 市内各区・団体等のイベントに参加するとともに、「環境ふれあいひろば」を開催し、地域と連携した取組みを行います。
- ② イベントの実施にあたっては、保育所・幼稚園・小中学校のPTAや大学・高校等の教育機関や環境保全活動に取り組んでいるサークル等との連携を図ります。
- ③ 大阪市の環境副読本である「おおさか環境科」を活用した出前講座を開講します。
- ④ 環境教育啓発を推進するための機材やカリキュラムの開発と活用をはかります。

（3）環境に配慮した企業部会

地球温暖化対策など企業の環境への取組みを促進するために、大阪市、企業・企業団体と連携した活動を推進します

- ① 大阪市地球温暖化対策実行計画を推進するため、大阪市に協力して、企業・企業団体と連携して施策の実行を進めています。
- ② 大阪市環境経営推進協議会と連携し、セミナーや視察研修会等の情報を提供します。
- ③ エコアクション21普及セミナー・講習会を行うとともに、環境省の「エコアクション21CO₂削減プログラム」を活用し、中小企業を対象に省エネ支援を実施します。
- ④ 大阪市、大阪市環境経営推進協議会の協力を得て、二酸化炭素削減コンペを実施し、優秀な事業者には、大阪市と連名で表彰を行います。
- ⑤ 昨年度作成した冊子「電気の省エネ対策集」を活用したセミナーや省エネ相談を実施します。